

4X MODをテンプレートボードのモジュラーエンドパネルにマウントすることで、ボード側面から1/4インチの入出力をルーティングできるようになります。

### CHANNEL LABELS

各チャンネルにマーカーでラベルできます。消すときはアルコールで拭き取して下さい。

### INPUT/OUTPUT JACKS

4X MODの4つのジャックはすべて、テンプレートボード側と外部をつなぐ入出力として使用できます。1/4インチジャックから入力された信号は、反対側の相対するジャックに送られます。4つのチャンネルは、すべて互いに完全分離されています。

モノラル、TRS、バランス入力/出力、FXループ、アンプスイッチャーなど、1/4インチ・フォン・ケーブルを用いた接続に使用できます。

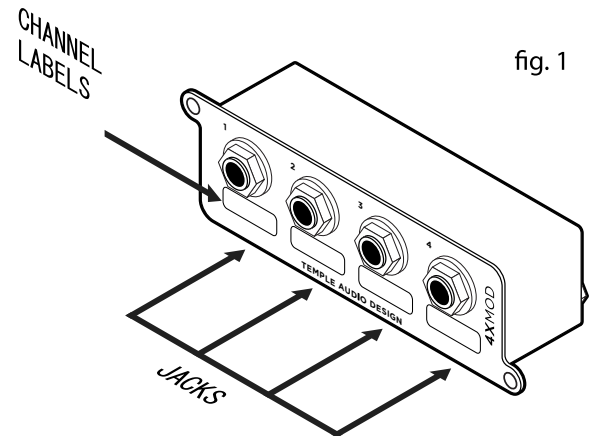


fig. 1

### CONFIGURATION OPTIONS

4X MODは様々なセットアップを可能とします。下記はセットアップの一例です。

fig. 2

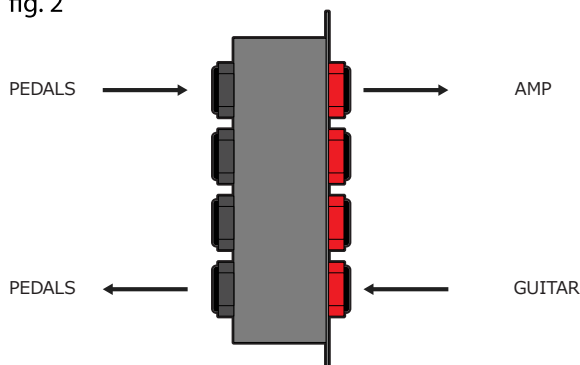


fig. 3

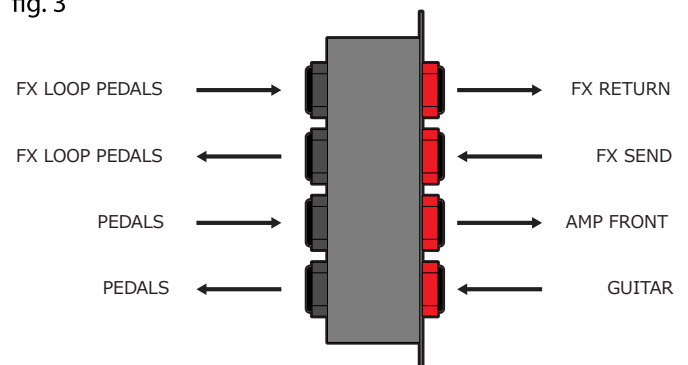


fig. 4

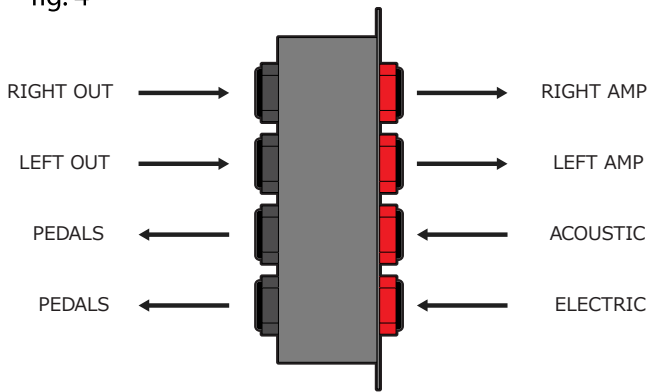
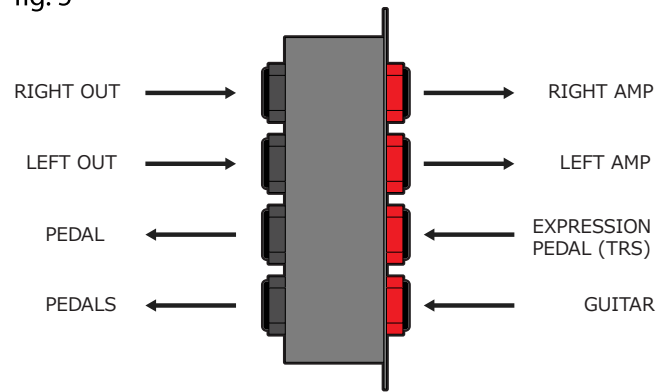


fig. 5



### LOOP-BACK OPTION SETUP

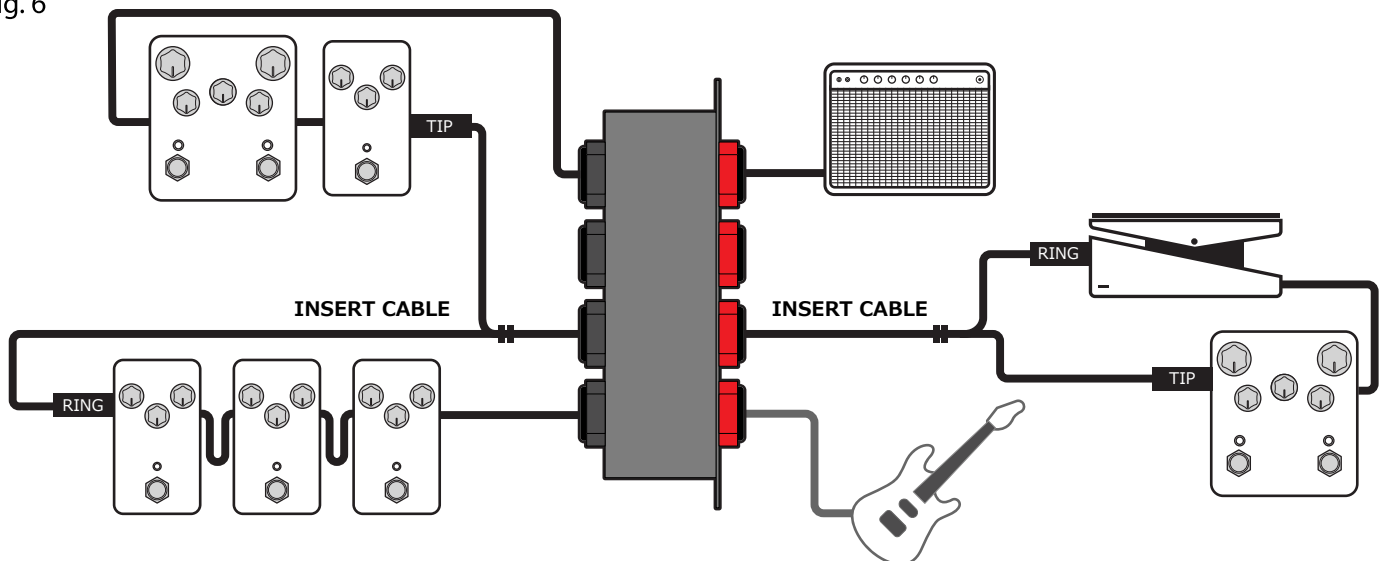
4X MODには、4つの赤いジャック・チャンネルの信号を正常化するスイッチが搭載されています。これによってモノラルTSケーブルを接続すると非アクティブな信号をミュート、ステレオTRSケーブルを接続した場合はFXループによるループバックを構築できます。

ループバック機能を使えば、シグナルチェーンに外部ループを挿入できます。挿入されたループは、赤いジャックにプラグインされなければ信号をスルーするようになっています。これはボリュームペダルをサイドへ接続したり、通常のセットアップ下で新しいペダルを試聴したりするのに最適なオプションとなります。

Yケーブル(別売り)を2本ご用意下さい。(fig. 8 参照)

1. TRSステレオプラグ側を本体内側の黒いジャックに挿し込みます。
2. 二股になったTSモノラルプラグは、挟みこんでループしたい2つのペダルの入出力に接続します。(接続についてはfig. 6 参照)  
 前側に何も接続されていない場合、信号は通常の接続とみなされ送られます。
3. もう1本のYケーブルのTRSステレオプラグは、先に差し込んだTRSジャックの相対するチャンネルの赤いジャックに挿し込みます。
4. 残りのTSモノラルプラグは、外部のループペダル類の入出力に接続します。4X MODは赤いジャックにプラグインされると、シグナルチェーンからこれらのペダルを自動的にルーティングします。

fig. 6



**WIRELESS BYPASS SETUP**

4X MODのループバック機能は、ワイヤレスユニットを手動でバイパスするように設定ができます。(電池切れや故障の場合) 楽器のケーブルが直接モジュールに接続すると、ワイヤレスユニットは完全にバイパスされます。

Yケーブル(別売り)を1本ご用意下さい。(fig. 8 参照)

- 1.YケーブルのTRSステレオプラグ側を本体内側の黒いジャックに挿し込みます。
- 2.二股になったTSモノラルプラグの片方(Ring側)をワイヤレスペダルの出力に接続します。
- 3.もう片側のプラグ(Tip側)は、シグナルチェーンの一番先頭のペダルに接続します。

本体外側の赤いジャックに何も接続されていない場合、シグナルチェーンはワイヤレスからペダルに流れます。楽器が赤いジャックに接続されるとワイヤレスユニットはバイパスされ、信号は先頭のペダルに流れます。

fig. 7

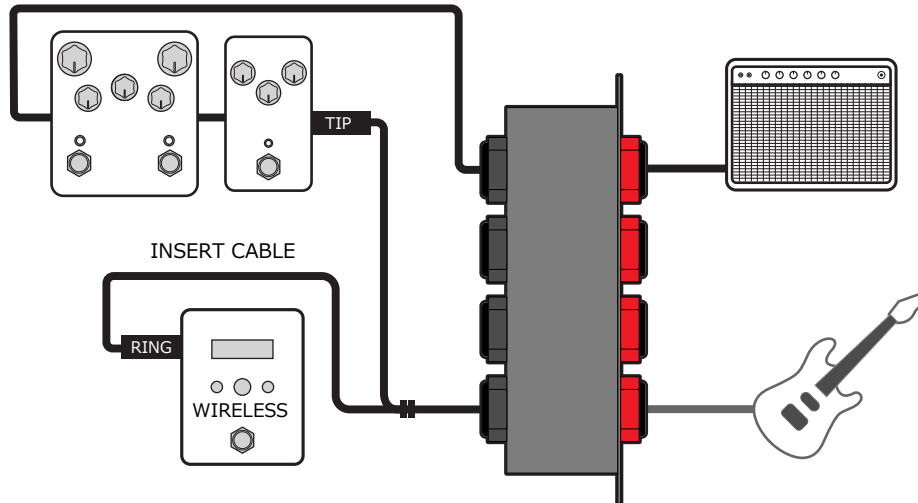


fig. 8

